

アジア経済
研究所

部族と国家

——その意味とコートジボワールの現実——

原口武彦著

研究双書

部族と国家

——その意味とコートジボワールの現実——

原口武彦著

アジア経済研究所

研究双書No.456

原口武彦著『部族と国家——その意味とコートジボワールの現実』

Buzoku to Kokka: Sono Imi to Kôto-Jibowâru no Genjitsu
(“Buzoku” and the State: A Case Study of Côte d’Ivoire)

Takehiko HARAGUCHI

Contents

Introduction

Part I Realities of African Tribes

Chapter 1 The Composition of Tribes in African Countries

Chapter 2 The Composition of Tribes in Côte d’Ivoire

Chapter 3 Sample Surveys on 8 Tribes in Côte d’Ivoire

Chapter 4 French Colonial Policy in Côte d’Ivoire

Part II Tribes and State Building

Chapter 5 Multi-tribal States and Languages

Chapter 6 Multi-tribal States and Multi-party Systems

Part III Meanings of “Buzoku”

Chapter 7 Tribe and Nation

Chapter 8 The Alternative Words for “Buzoku”

Chapter 9 Conclusion

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 456]

Published by the Institute of Developing Economies, 1996
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

部族と国家

はらぐち たけひこ
原口 武彦(新潟国際情報大学教授)

部族と国家

—その意味とコートジボワールの現実—

研究双書456

1996年3月1日発行©

著者 原口武彦

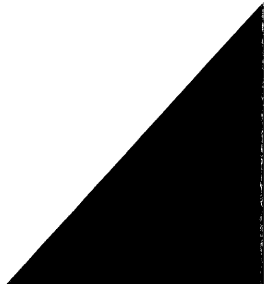
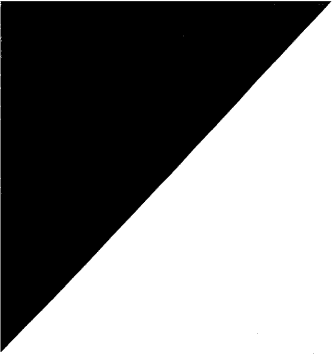
発行所 アジア経済研究所
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04456-3



IDE



目 次

まえがき

序 章 本書の構成, 課題, 方法	3
I 本書の構成	3
II 課題と方法	3

第 1 部 部族の現実

第 1 章 アフリカ諸国の部族構成	11
第 2 章 コートジボワールの部族構成	19
第 3 章 コートジボワール諸部族の実態	29
I 系譜	34
II 規模	34
III 部族名の由来	37
IV 部族の起源	39
V 言語	40
VI 政治組織	41
VII 親族組織	42
VIII 生業	43
IX まとめ	45

第4章 フランスの植民地政策	49
I 保護領条約	50
II 内陸部の軍事的征服	56
1. 概況	56
2. 事例——グロ族とバウレ族の場合	57
3. サモリ帝国	70
III 植民地行政区画の設定	74
1. バウレ族	77
2. ゲレ族	78
IV まとめ	81

第2部 部族と国家形成

第5章 多部族国家と言語	89
I アフリカ諸国の言語状況	89
II コートジボワールの言語状況	94
1. 部族構成	94
2. フランス語の普及	96
3. 複数部族語の併用	98
4. ジュラ語とバウレ語	101
III コートジボワールの言語政策	106
IV まとめ——コートジボワールの言語政策理念の批判的解釈——	113
第6章 多部族国家と複数政党制	119
I 1990年選挙とその開票結果	122

1. 大統領選挙	124
2. 国民議会選挙	126
3. 地方自治体議員選挙	132
II PDCIと部族主義	134
III FPI台頭の意味	141
IV まとめ	148

第3部 部族の意味

第7章 部族と民族	157
I 部族と人類学	157
II 民族と部族——モーガンの『古代社会』——	163
III 民族と部族——湯浅赴男の「民族論」——	176
第8章 部族のよびかえ	191
I tribe(英)とethnie(仏)またはgroupe ethnique(仏)	191
II tribeのよびかえ——ethnic group	195
III 部族のよびかえ——民族, エスニック・グループ	199
1. 民族によるよびかえ	199
2. エスニック・グループによるよびかえ	202
IV 部族の再定義	206
第9章 結論——族的存在としての人間——	211
I 部族概念の有効性	211
II 族的存在としての人間	215